

RG 144
EXCITEMENT EMBODIED

GUNDAM.INFO

Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your access method and connection to the website are
your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費用はお客様のご負担となります。



18000 RAISER

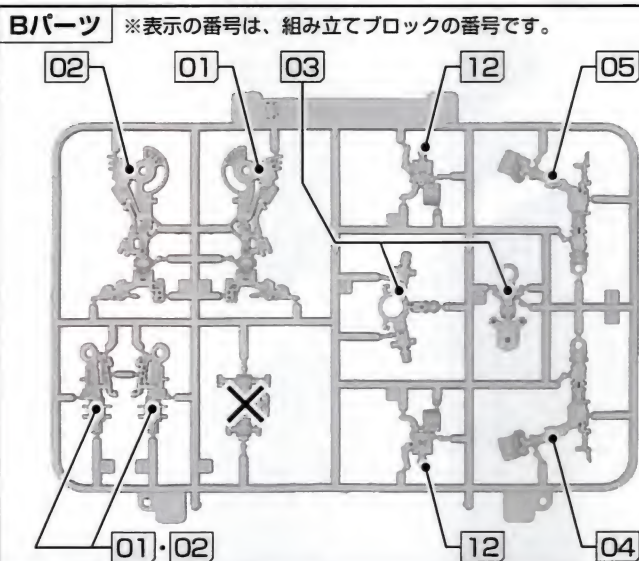
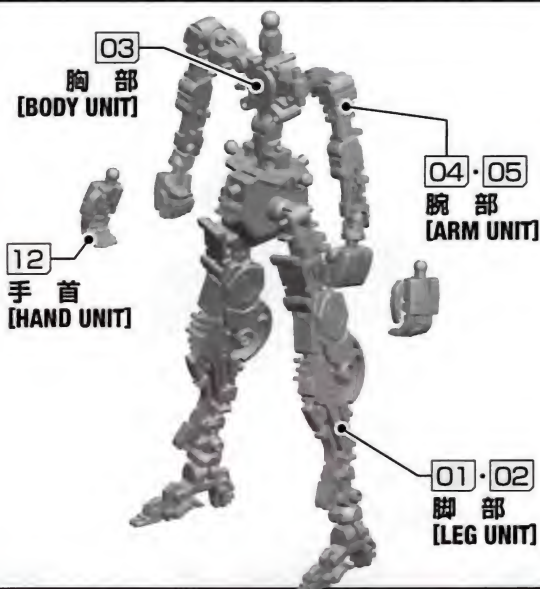
CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GN-0000+GNR-010
リアルグレード 1/144 スケールモデル ダブルオーライザー

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
We want to tell all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.



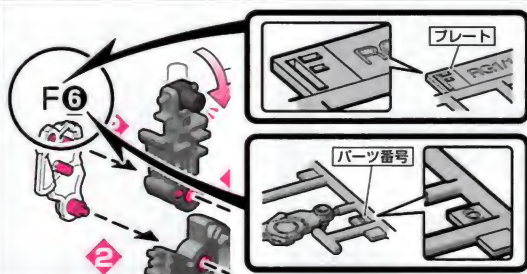
組み立て前の基本説明

アドバンスドMSジョイント7(Bパーツ)のフレーム構成は、図のようになります



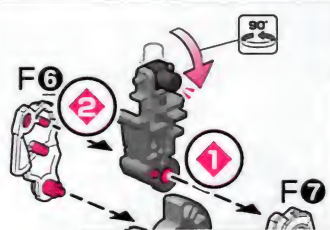
部品の探し方

※説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)



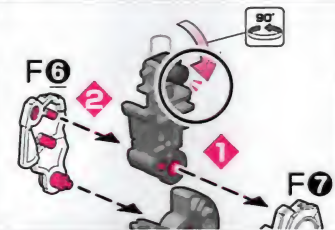
数字の順に組み立ててください

※組み立て図中に①②のついている組み立ては、数字の順に組み立ててください。

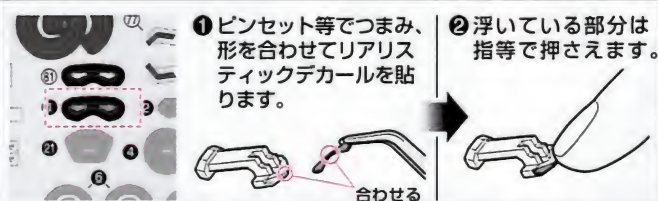


部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



リアスティックデカールの貼りかた



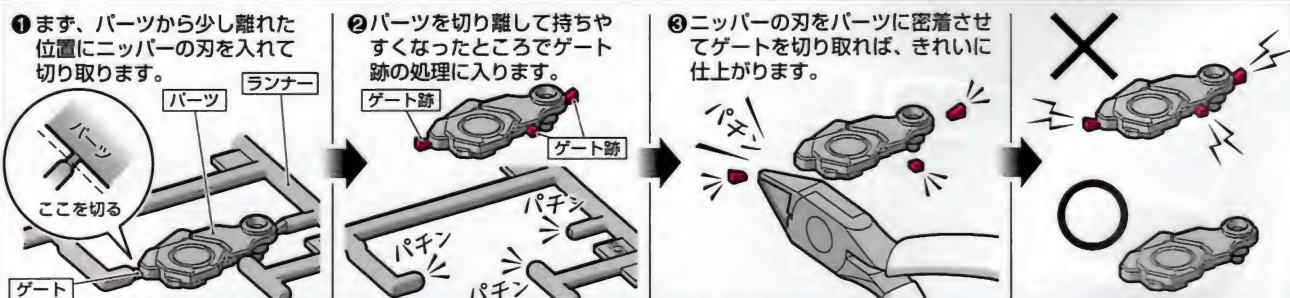
アンダーゲートの切り取りかた

アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側にゲートがあります。の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



パーツの切り取りかた



△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。ピンセット等をご使用になると便利です。(道具類は付属しておりません。別にご用意ください。)

パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

Aパーツ(イロブラ) アンダーゲート有り

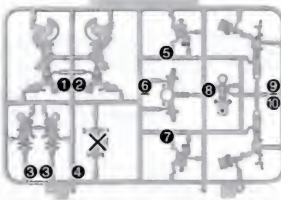
(スチロール樹脂: PS)



Bパーツ(グレー)

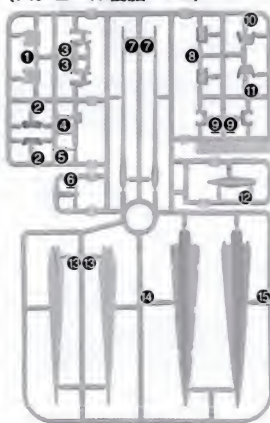
(ABS樹脂: ABS)

(ポリプロピレン: PP)



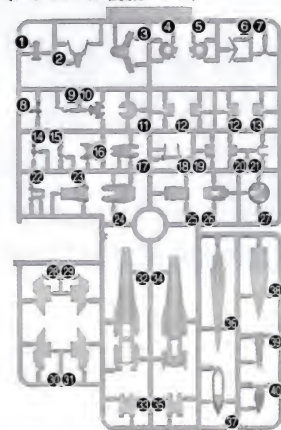
Cパーツ(イロブラ)

(スチロール樹脂: PS)



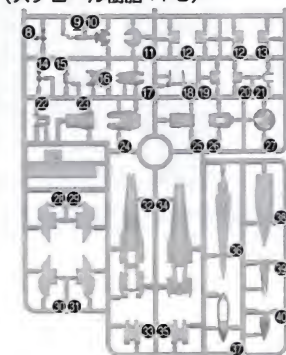
D1パーツ(ホワイト) アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



D2パーツ(ホワイト) アンダーゲート有り

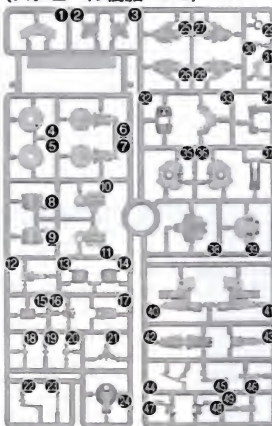
(スチロール樹脂: PS)



E1パーツ(グレー)

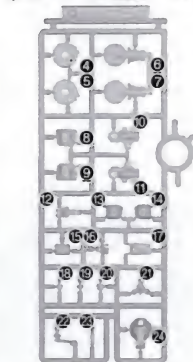
アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



E2パーツ(グレー)

(スチロール樹脂: PS)



Fパーツ(グレー) (×2)

(ABS樹脂: ABS)



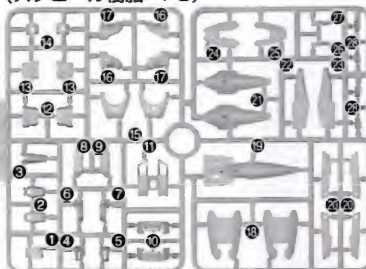
Gパーツ(グレー)

(ABS樹脂: ABS)



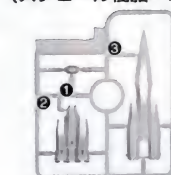
Hパーツ(ブルー) アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



Iパーツ(ホワイト)

(スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

リアリスティックデカール……………1枚

GN-0000+GNR-010 OO RAISER



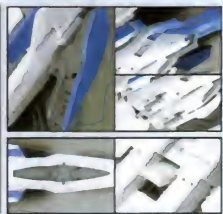
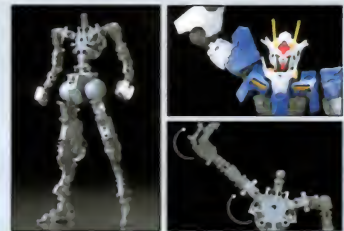
GN-0000 ダブルオーガンダム

GN-0000 OO (ダブルオー) ガンダムは、国連軍との戦いに敗れたCB (ソレスタルビーイング) が、4年間の隠伏の時を経て、エクシアの後継機として開発した新たな「ガンダム」である。最大の特徴は「GNDライヴ (太陽炉)」を2基搭載した「ツインドライヴシステム」の採用と、消息不明であった刹那・F・セイエイを専任パイロット「ガンダムマイスター」として想定し、最適化された設計及びチューニングが施されている事である。GNDライヴは、第一世代機のOガンダムのものと、刹那と共に行方知れずであったエクシアのものを実装している。

GNR-010 オーライザー

「ガンダム」の支援機としてCBが開発した戦闘兵器。ダブルオーガンダムと連携することで偵察や援護をはじめとする多様なサポート運用が想定されていた。動力源は大型のGNコンデンサーで、ダブルオーガンダムとの作戦行動に対応可能な大容量の粒子蓄積システムと高性能な粒子制御装置が複数実装されている。ツインドライヴシステムの安定的な同調稼働における有効性が確認されて以降は、ダブルオーガンダムの作戦行動に必要な不可欠なユニットとして、本来の想定とはかけ離れた用途で運用されている。航空機のキャノピー状に見える部位は複合センサーユニットである。

ダブルオーガンダムが発揮する汎用性は、その内部フレームによって実現されていると言っても過言ではない。多数の関節を内包したフレームは、構造的には人体の骨格からかけ離れた部位が各所にあるものの、非常に人間的な柔軟性を発揮する。ただし、戦闘状況においては、人体の模倣を越えた次元の挙動と運動性を機体に与えている。



GNビームマシンガン/GNマイクロミサイル

オーライザーが装備する武装は、単独での運用とダブルオーガンダムとの連携、サポート装備に分類することができる。対艦用の「大型GNミサイルA/Sタイプ」、ビーム兵器の使用抑制効果も持つ「粒子攪乱ミサイル」などのほか、「GNコンデンサー」や「GNソードⅢ」、「ハンドミサイルユニット」なども装備、運用が可能である。ちなみに、ダブルオーガンダムとのドッキング機構そのものは、長期の作戦行動などに備えて開発当初から想定されていた。

GN-0000+GNR-010 ダブルオーライザー

ダブルオーライザーは、復活した新生CBによって新たに作られた「OO (ダブルオー) ガンダム」と、支援機である「オーライザー」が合体した状態の名称である。ダブルオーガンダムは、2基の太陽炉を使用する「ツインドライヴシステム」を搭載していたが、単独ではシステムが安定せず、支援機であるオーライザーと合体することで、ツインドライヴの安定稼働とトランザムの発動が可能となった。オーライザーと合体したダブルオーガンダムは、ガンダムを超えた存在として「ダブルオーライザー」と呼ばれる。本機によるトランザムは、設計データから予測される数値を大幅に上回る粒子生成能力を持つのみならず、機体の量子化、さらに機体を中心に脳量子波の伝播を可能とする量子空間の展開によるパイロット同士の思惟の感応など、単なる兵器のカテゴリーを超えた機能と効果を備わにした。トランザムを発動したダブルオーライザーは特に「トランザムライザー」と呼ばれるが、これこそイオリア・シュヘンベルグが計画の要(かなめ)と考えていた真の姿であり、マイスターであった刹那は、シュヘンベルグの理想通り、トランザムライザーを駆けることで「純粋種のイノベーター」へと進化を遂げたのである。

※一部の画像にはバンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) を使用しています。

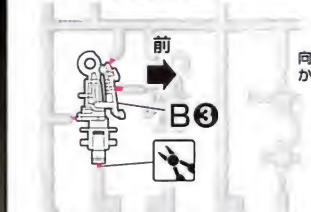


LEG UNIT

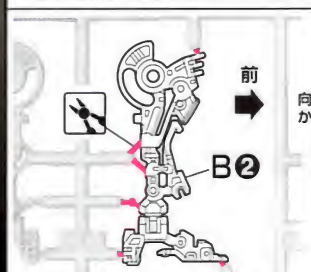


01-1 [右足の組立] RIGHT LEG

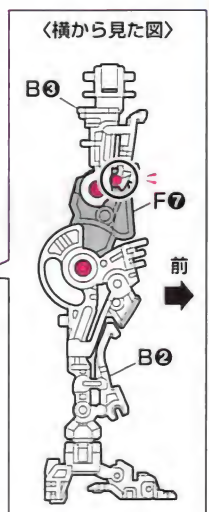
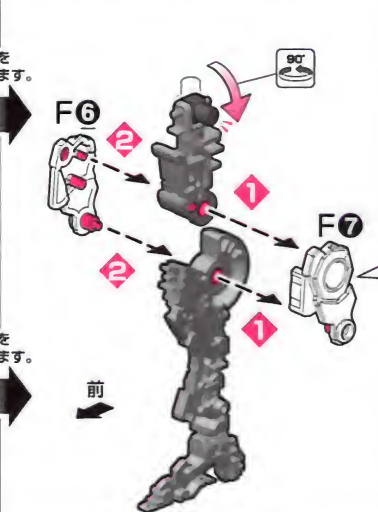
※フレームパーツは
まっすぐにはめ込んでください。



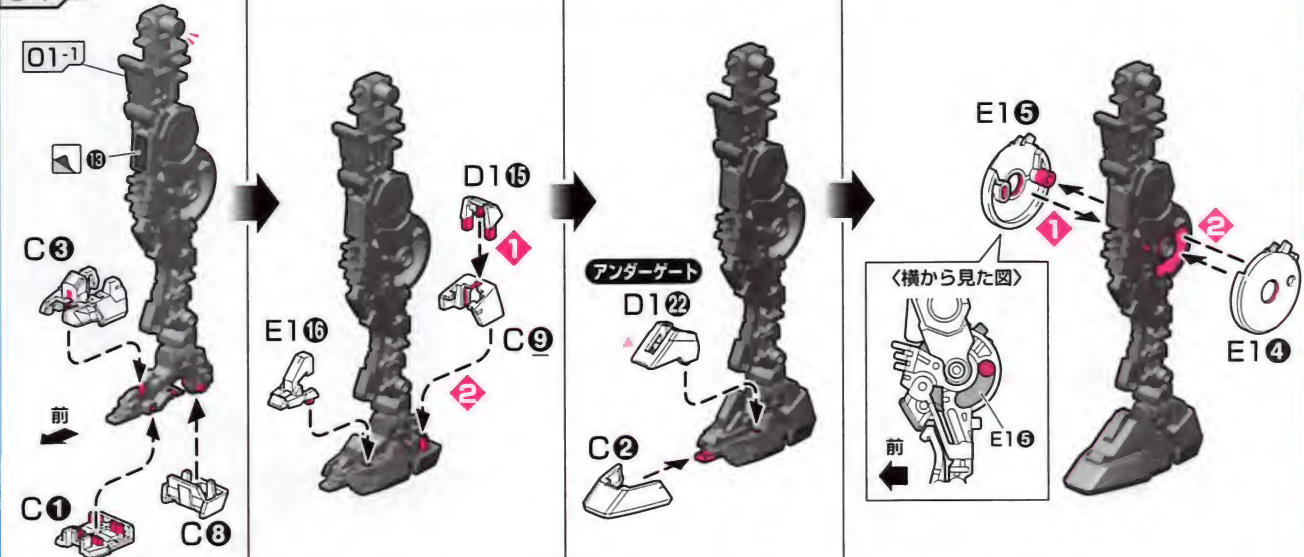
※B⑥ (左脚) も同様に切り取ってください。



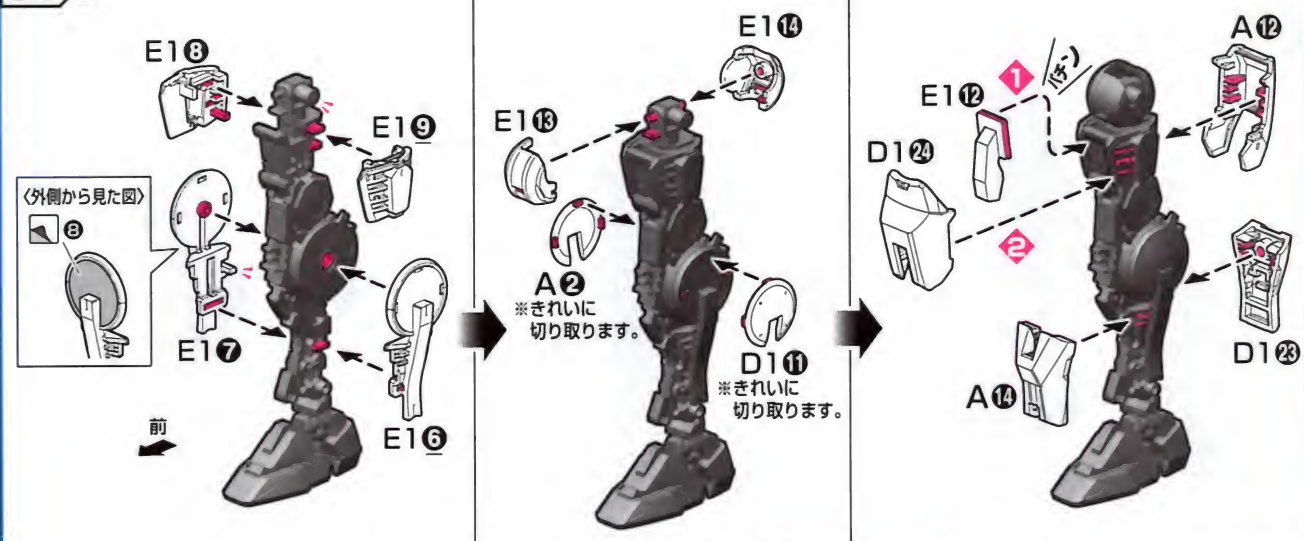
※B① (左脚) も同様に切り取ってください。



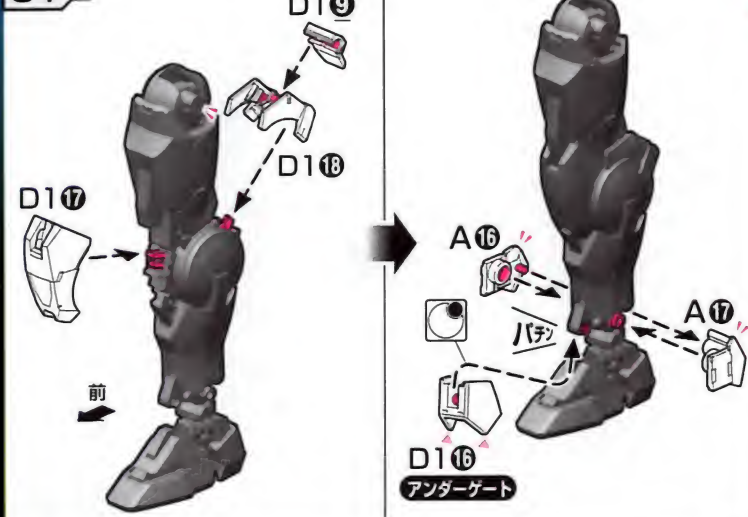
01-2



01-3

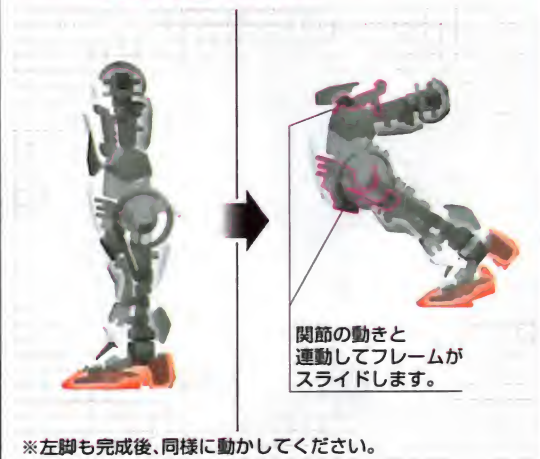


01-4



右脚の可動

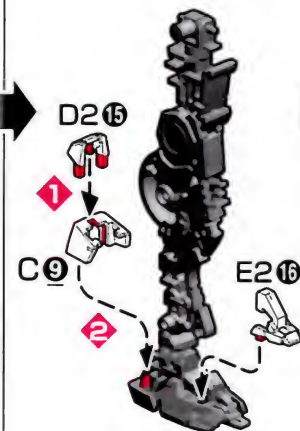
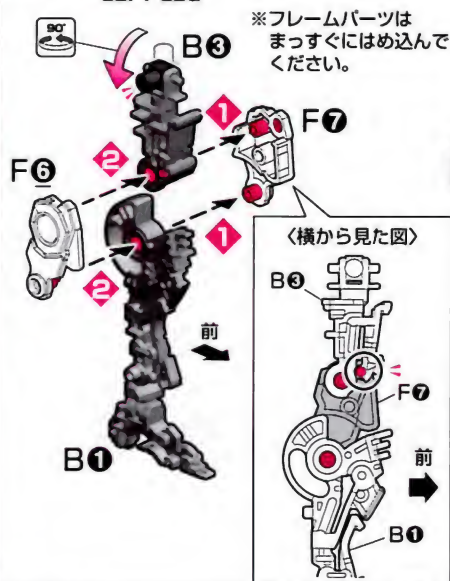
※可動させる際にはスライドするパーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。



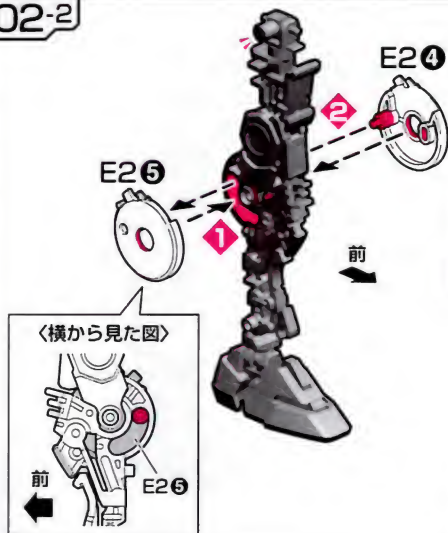
02-1 [左脚の組立]

LEFT LEG

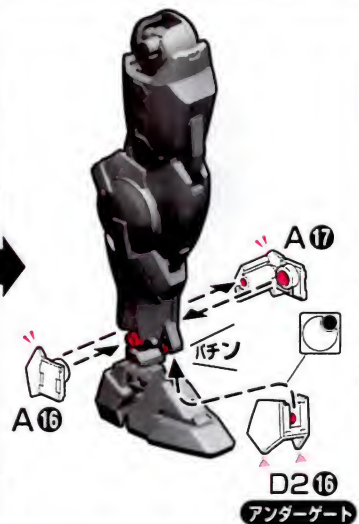
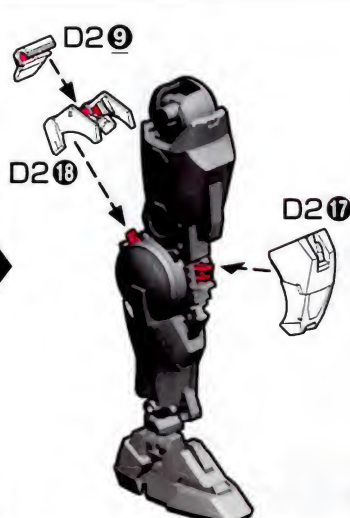
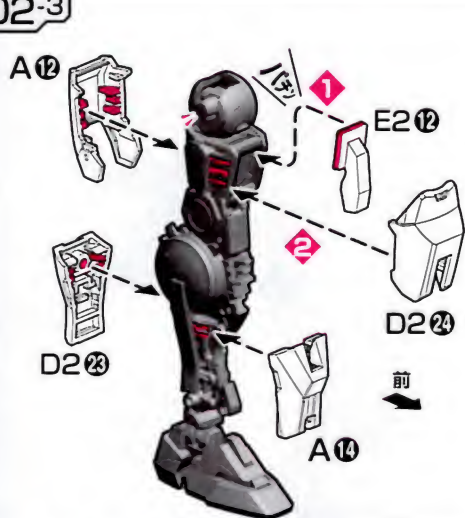
※フレームパーツは
まっすぐにはめ込んで
ください。



02-2



02-3

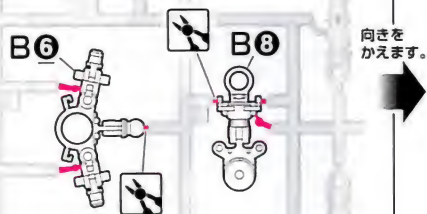


BODY UNIT

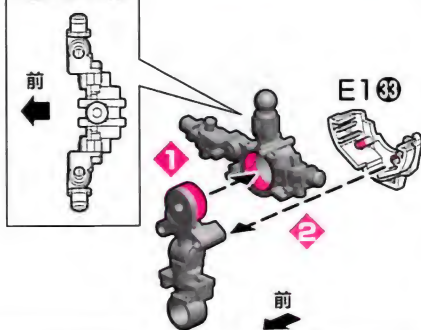


03-1 [胸部の組立]

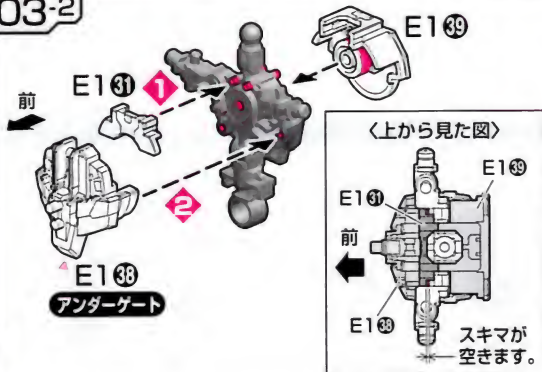
BODY UNIT



〈上から見た図〉



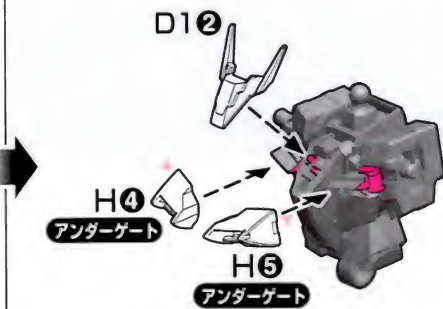
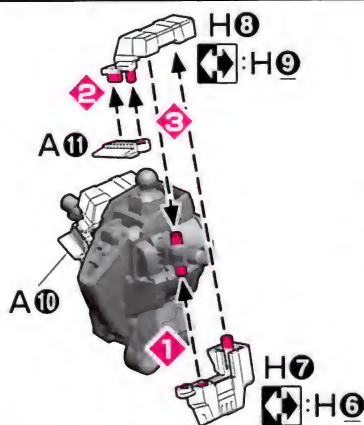
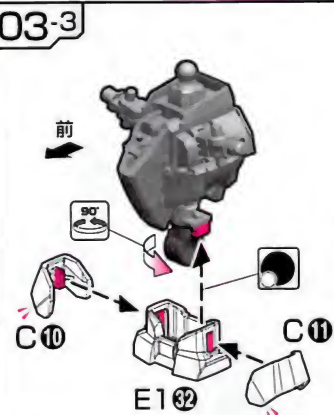
03-2



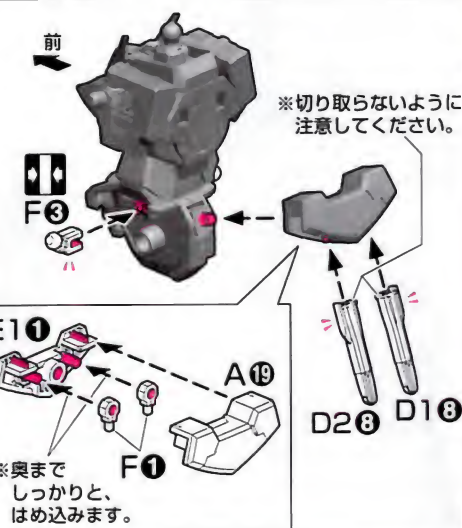
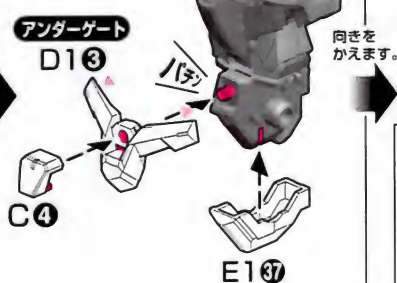
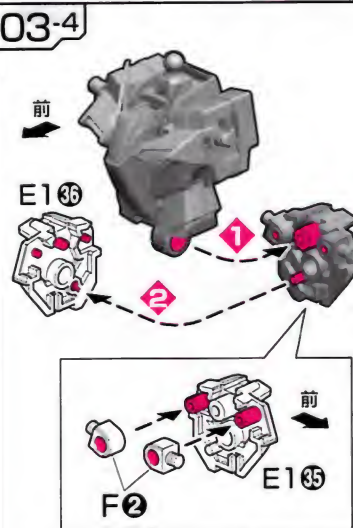
※切り取らないように
注意してください。



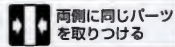
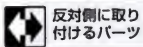
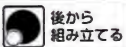
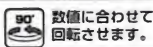
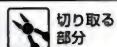
03-3

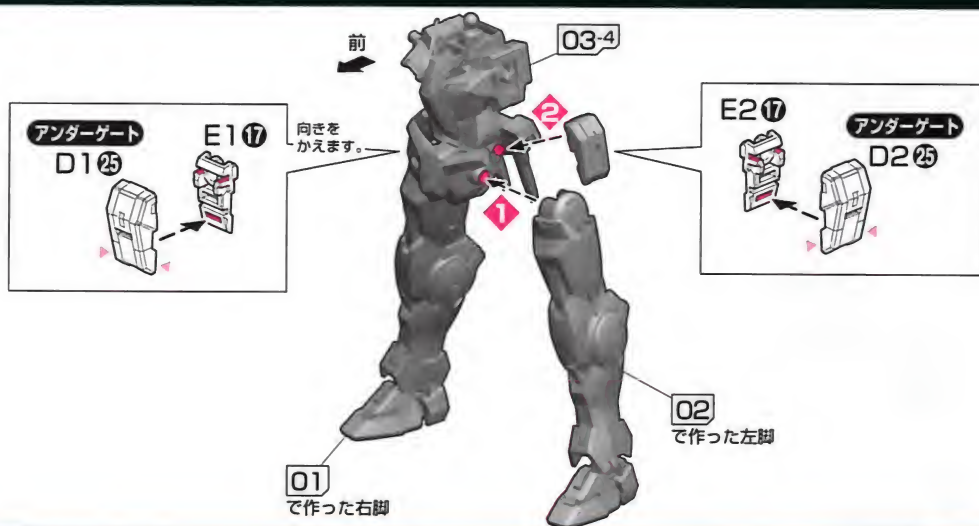


03-4

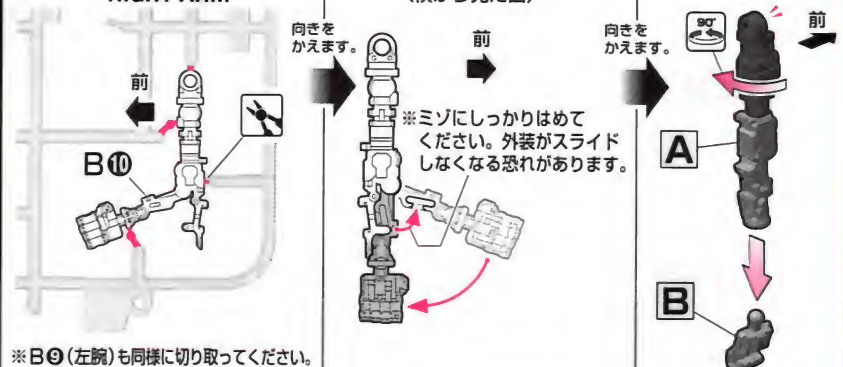


※組立図中の
記号説明



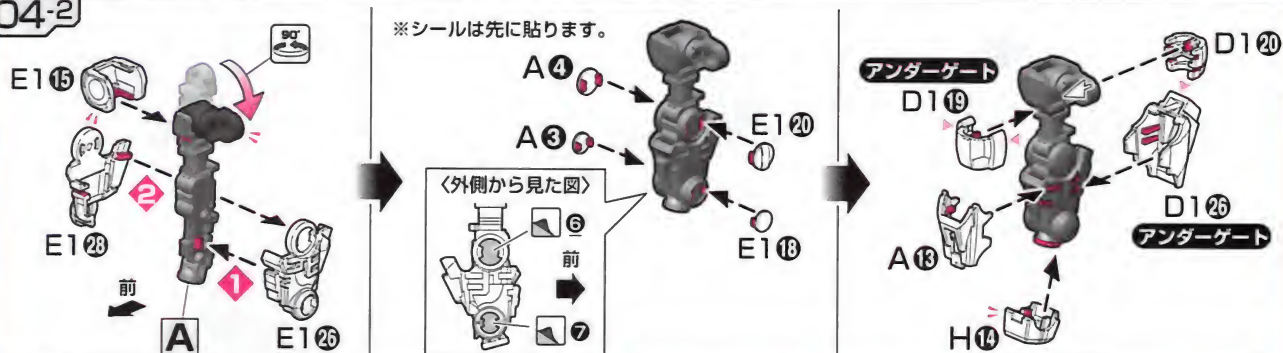


ARM UNIT

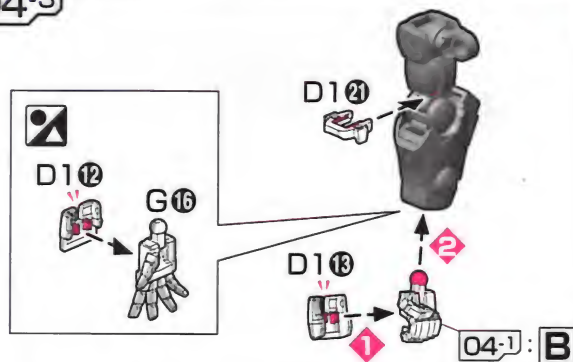
04-1 [右腕の組立]
RIGHT ARM

※B⑨(左腕)も同様に切り取ってください。

04-2



04-3



右腕の可動

※可動させる際にはスライドするパーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。



※左腕も完成後、同様に動かしてください。

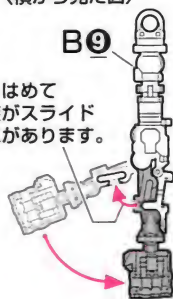
05-1 [左腕の組立] LEFT ARM

※A・Bはそれぞれの工程で使用します。

〈横から見た図〉

※ミゾにしっかりとめてください。外装がスライドしなくなる恐れがあります。

前



向きをかえます。

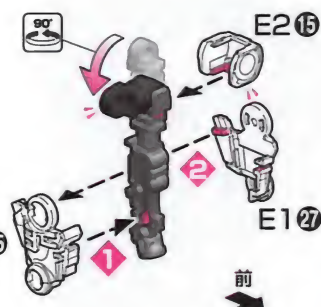
A

前

B

向きをかえます。

E1 25



前

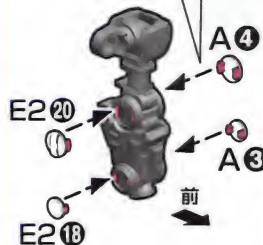
05-2 ※シールは先に貼ります。

〈外側から見た図〉

6

前

7



前

D2 20

アンダーゲート

D2 19

D2 26

アンダーゲート

A13

H14

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

A13

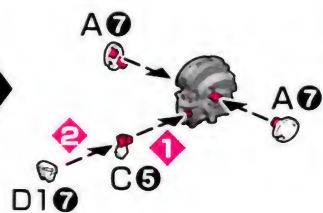
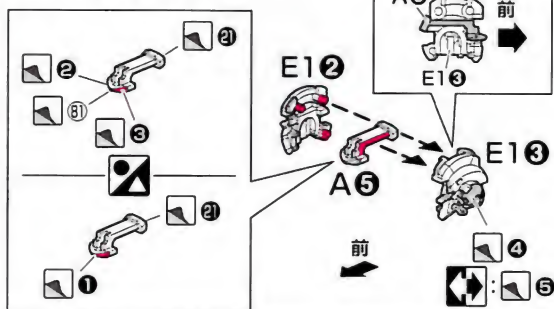
A13

A13

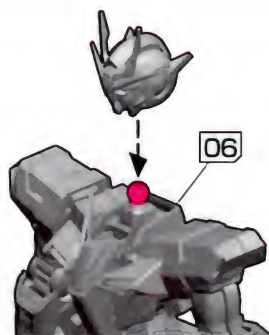
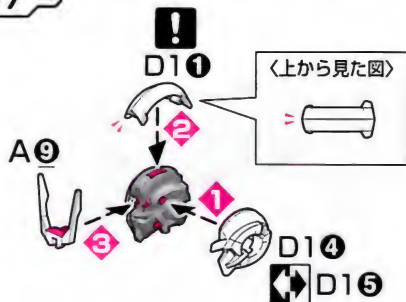
A13

HEAD UNIT

07-1 [頭部の組立] HEAD UNIT

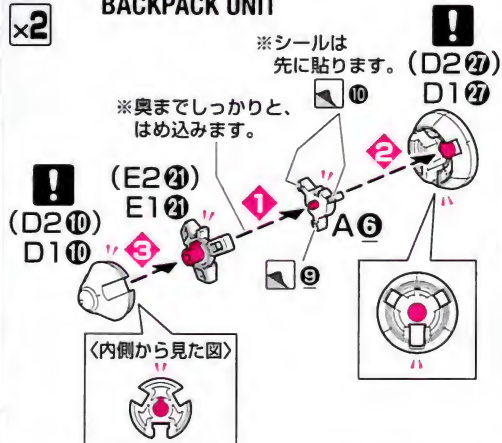


07-2



BACKPACK UNIT

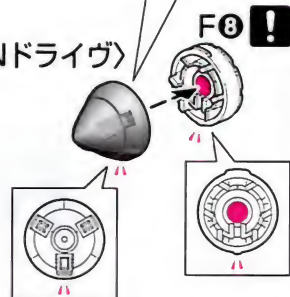
08-1 [バックパックの組立] BACKPACK UNIT



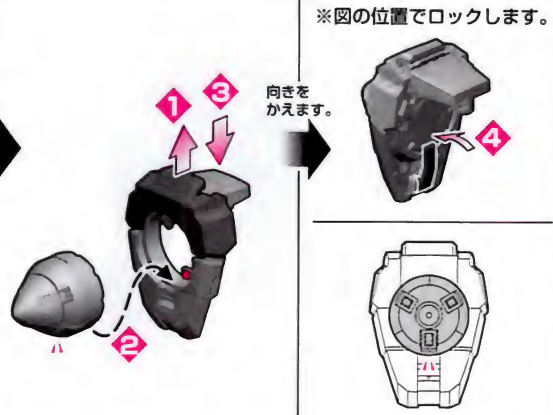
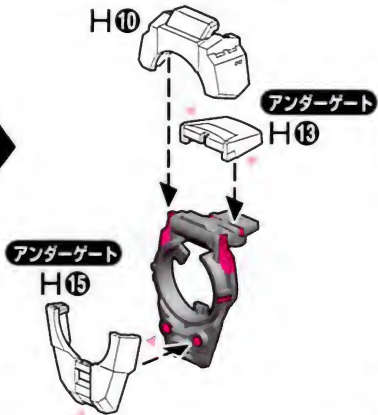
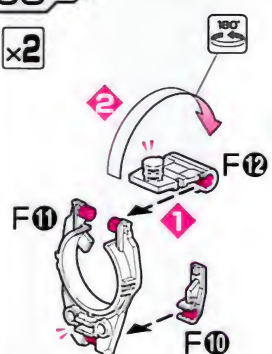
粒子貯蔵タンク



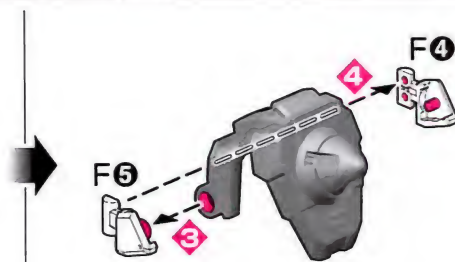
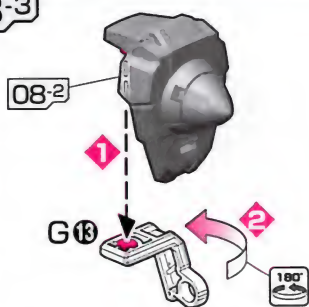
GNドライブ



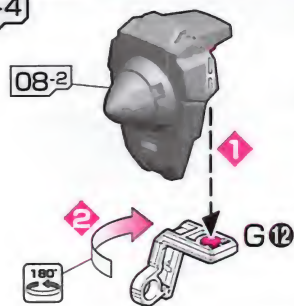
08-2



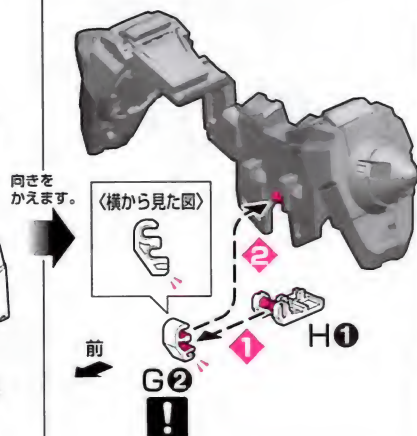
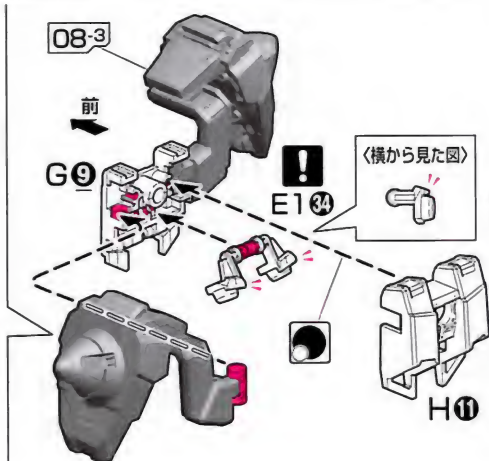
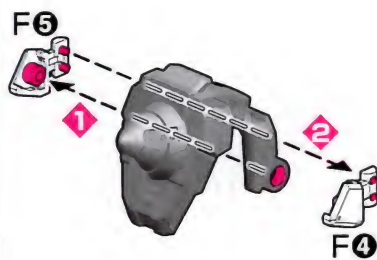
08-3



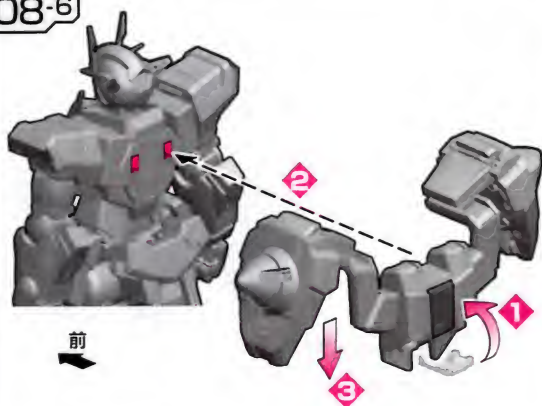
08-4



08-5



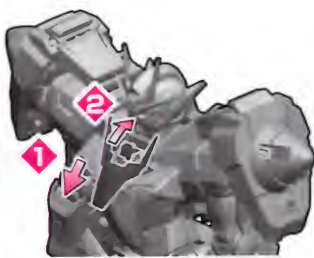
08-6



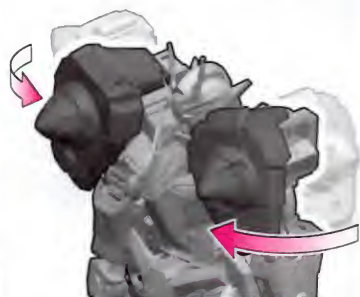
※ A10 は好きな所に飾ってください。

08-7

〈コクピットハッチの開け方〉



〈ツインドライブの可動〉



WEAPONS

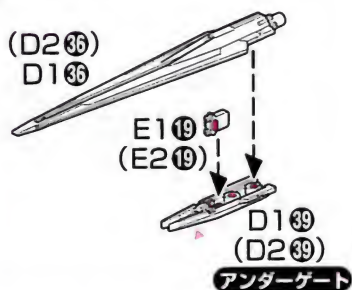


OO RAISER
CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GN-0000-GNR-010

09-1

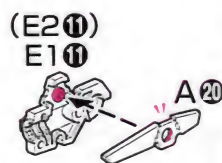
[GNソードⅡの組立]
GN SWORD II

x2



09-2

x2



※組立図中の
記号説明



数値に合わせて
回転させる



向きに注意して
組み立てる

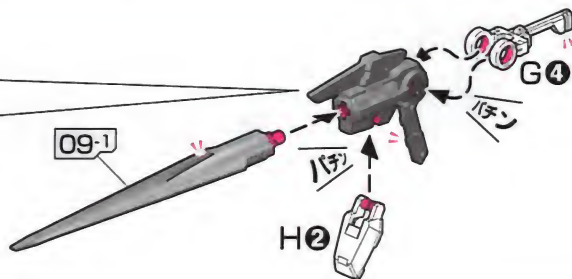
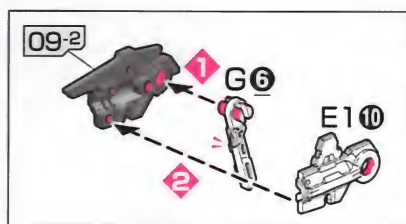


後から
組み立てる

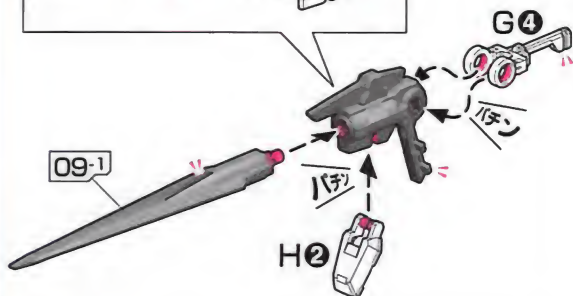
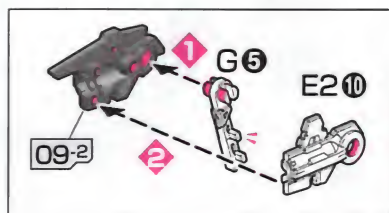


部品を数値の
個数作る

09-3 [GNソードII 右用]



10 [GNソードII 左用]



11 [GNシールドの組立]

GN SHIELD

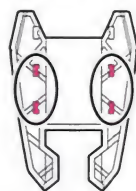
x2

F16

D1 38
(D2 38)
アンダーゲート

H18
アンダーゲート

〈内側から見た図〉

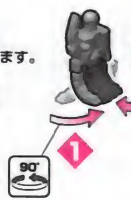


12-1 [右手首の組立]

RIGHT HAND

B6

向きをかえます。



D1 12

12-2

(右腕)



12-3 [左手首の組立]

LEFT HAND

B7

向きをかえます。



D2 12

12-4

(左腕)



【GNドライブ】GNドライブは、イオリア・シュベンベルグが基礎理論を構築し、その意志を受け継いだCBIが完成させた「ガンダム」の機軸を成すエンジンシステムである。その開発には木星環境が必要不可欠であり、製造も木星圏においてのみ可能とされる。GNドライブユニットは、GN粒子を動力源としてのみならず、ビームの生成や装甲の強化などの攻防手段に転用するためのデバイスでもある。太陽炉自体はスラスターコーンで覆われており、粒子そのものをプロペラントとするメインスラスターとしても機能している。ダブルオーガンダムは、バックパックと直結するドライブアームによって2基のドライブユニットのポジションを自在に変えることで、他の機体とは次元の異なる機動性を発揮する。しかし各太陽炉には倦怠感があり、その同調には困難が伴う。新生CBIは、各機の過去の実験データから、最も同調率が高いと予想されるOガンダムとエンゴのユニットによるツインドライブシステムの採用に踏み切った。投入直後、トランザムモードによる強制的な起動には成功するものの、戦艦中にオーバーロードを起こすなど、安定稼働にはほど遠く、問題は山積していた。それを一挙に解決したのがオーライザーとの連携であった。これによって、ツインドライブシステムは動力源として、あるいは機体整備、または防御手法としての真価を発揮したのみならず、ダブルオーライザーを単なる兵器から、人類を革新させる存在へと変遷させるのである。



| ツインドライブシステム |

シュエンベルグによる理論に基づいて開発されたGNDドライブの運用法。これは、2基の太陽炉を同調させる事によって、粒子生成量が2乗化するという画期的なものであったが、その同調の困難さから、かつて第二代機への採用が見送られたという経緯を持つ。



●画像にはバンダイプラモデルアクションベース2 (BANDAI PLAMODEL ACTION BASE 2) を使用しています。

| GNコンデンサー |

GN粒子を蓄積するユニット。GNドライブはGN粒子を無尽蔵に生み出せるが、一定時間内に生成可能な粒子の量には上限があるため、余剰粒子を予めチャージしておくことで、粒子の消費量と生成量を調整する。後にこの技術を転用した大容量のGNコンデンサーを搭載したMSが出現し、ガンダムの絶対的優位が揺らぐ事態を招いてしまうが、それは新生CBに代りてより支援機や強化装備の開発に大いに寄与することとなった。

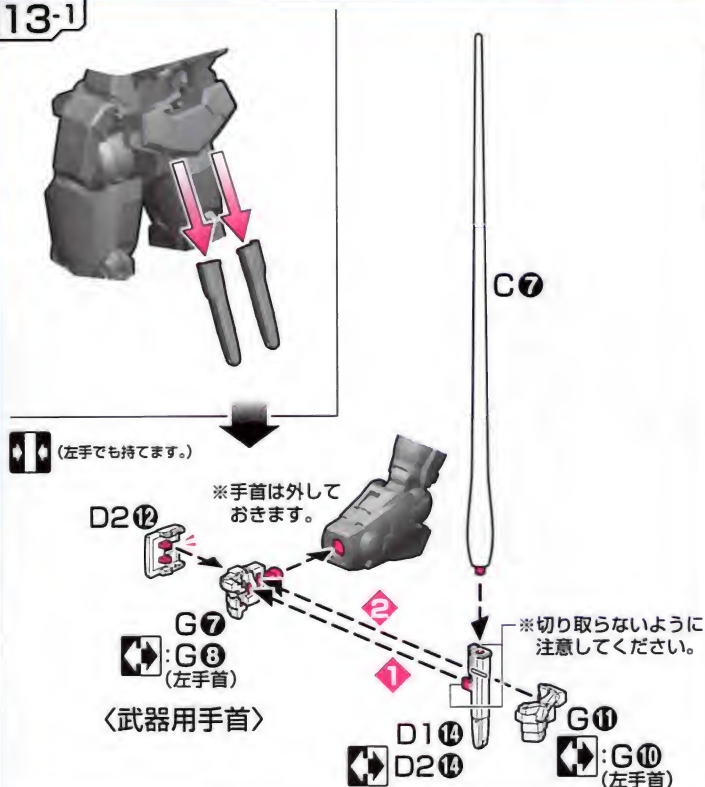


| 粒子貯蔵タンク |

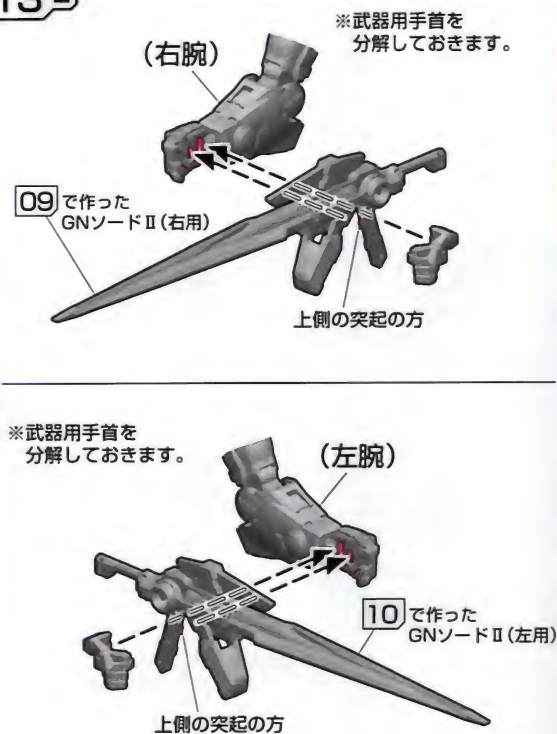
イノベイドとの最終決戦において失われたツインドライブの代替装置としてCBが開発したGN粒子貯蔵システム。後継機である「ダブルオークアンタ」がロールアウトするまでの間、ダブルオークガンダムの特メインエネルギーユニットとして採用されていた。太陽炉無しでトランザム・キンドを起動させる事も可能だが、稼働時間は極端に短い。



13-1

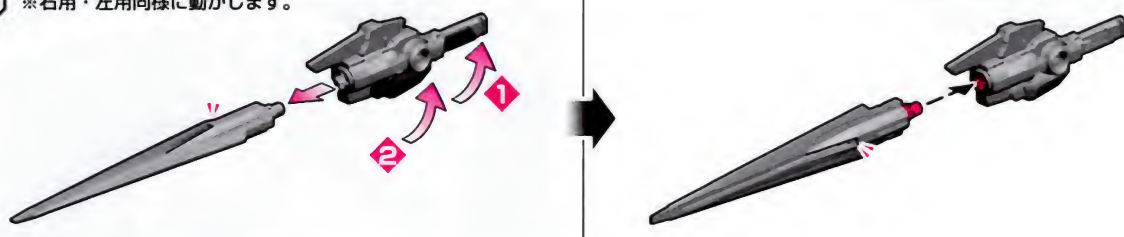


13-2



13-3 ※右用・左用同様に動かします。

×2



13-4



(左用)

※武器用手首を分解しておきます。

(左腕)



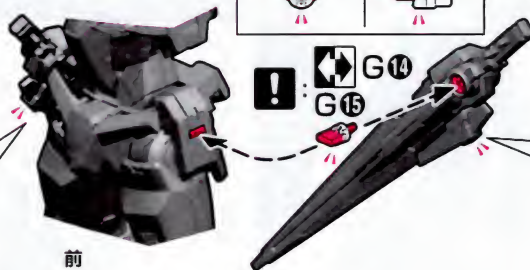
下側の突起の方

〈内側から見た図〉 〈前から見た図〉



G14

G15



前



(右用)

※武器用手首を分解しておきます。

(右腕)



下側の突起の方

13-5

(右用)

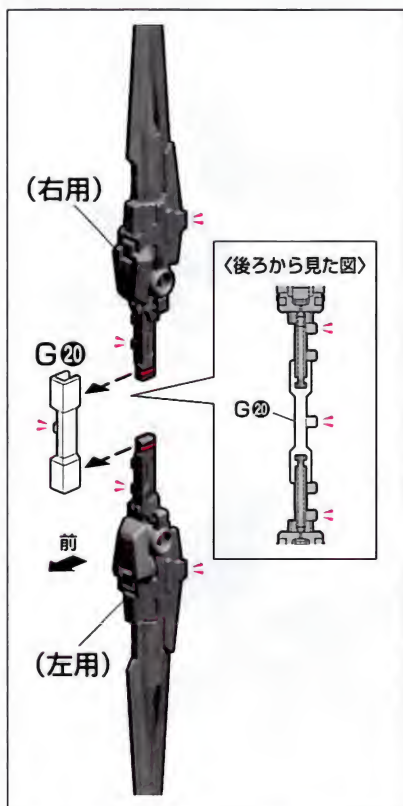
〈後ろから見た図〉

G20

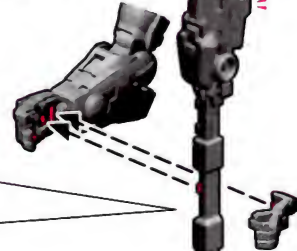
G20

前

(左用)



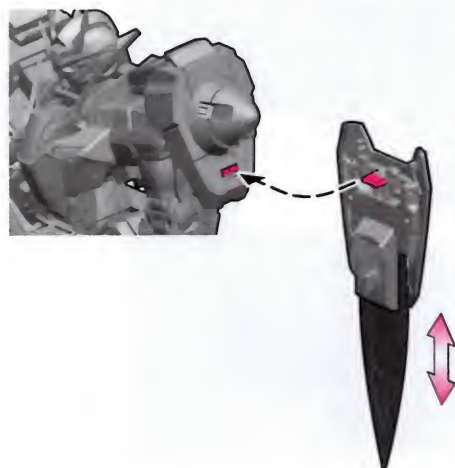
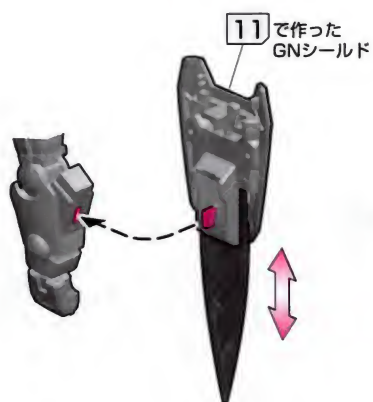
※武器用手首を分解しておきます。



C18

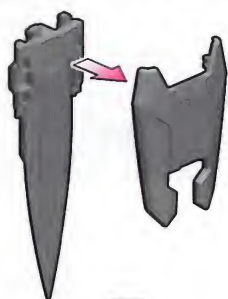


13-6

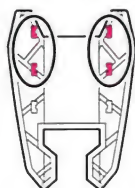
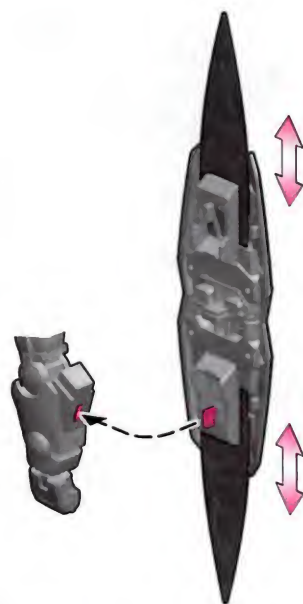


13-7

x2

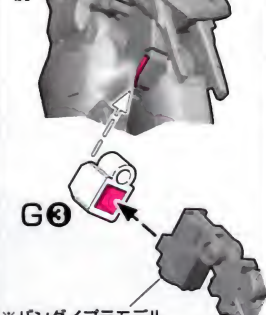


〈内側から見た図〉

向きを
かえます。向きを
かえます。

13-8

前



※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。



※画像は参考のために完成したものを使用しています。

※組立図中の
記号説明



両側と同じパーツ
を取りつける



どちらかを選ん
で取りつける



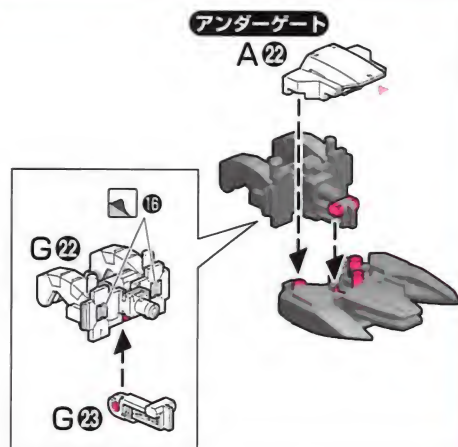
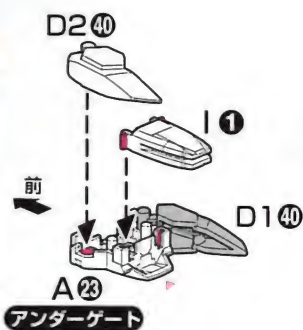
x2 部品を数値の
個数作る

15

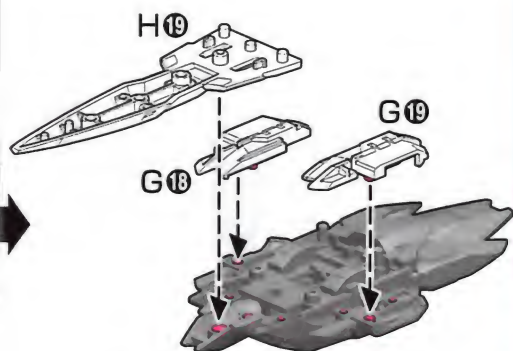
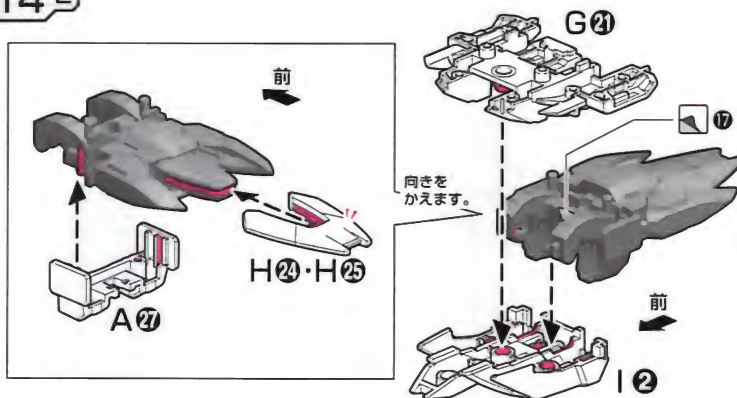
O RAISER

14-1 [オーライザーの組立]

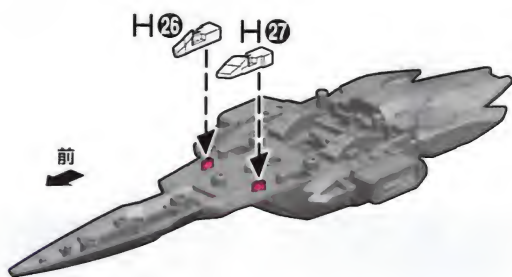
O RAISER



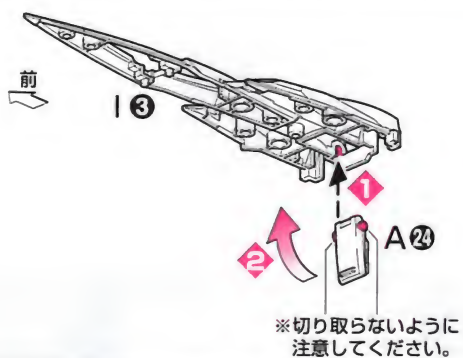
14-2



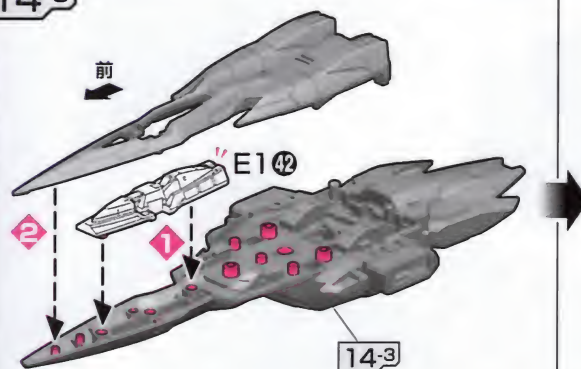
14-3



14-4



14-5



粒子貯蔵タンク型

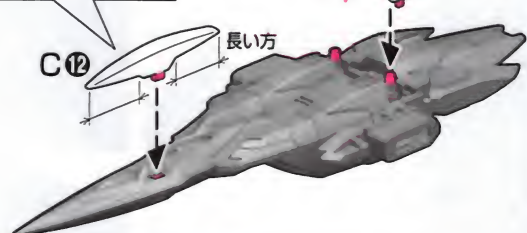
A21

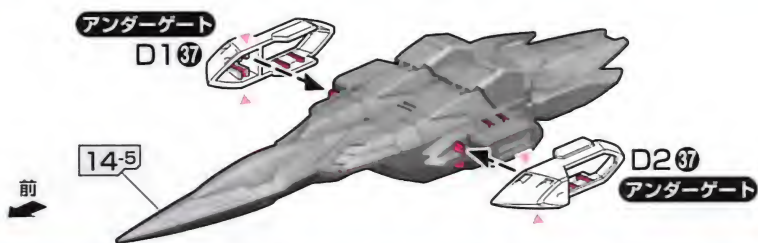


C12

長い方

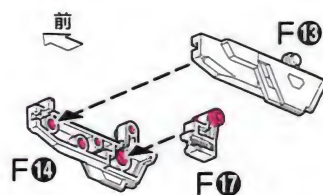
A25





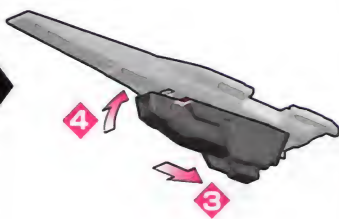
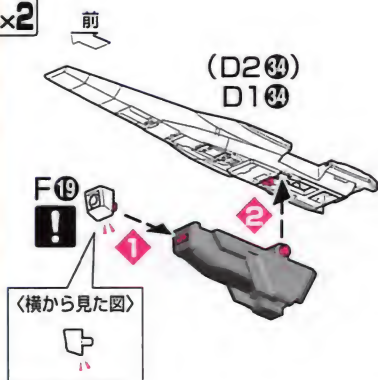
15-1 [ウイング部の組立]

x2



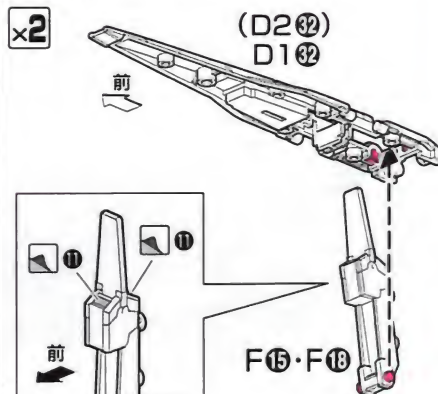
15-2

x2



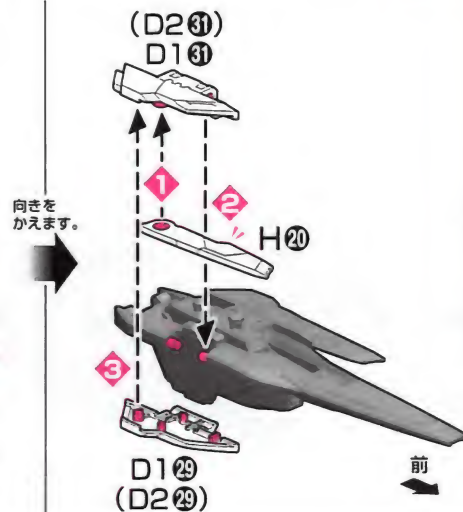
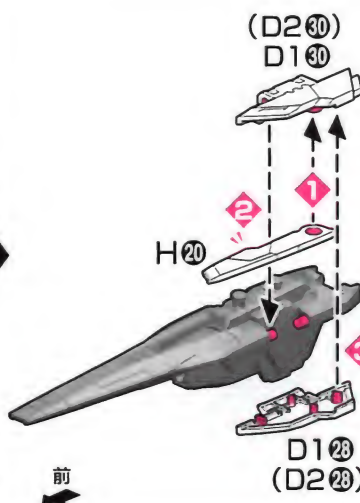
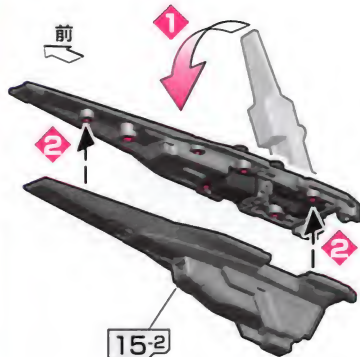
15-3

x2



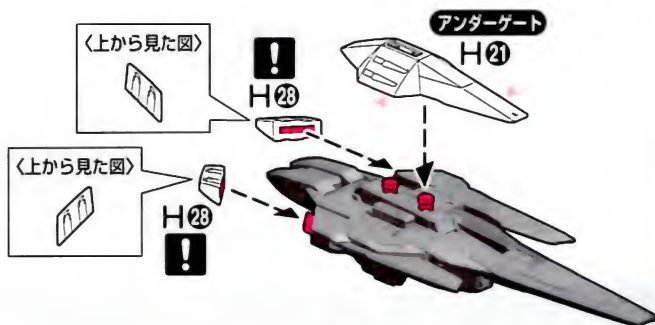
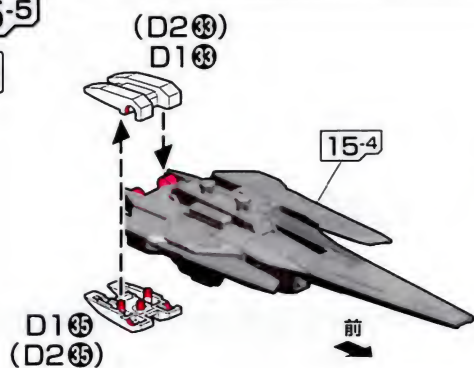
15-4

x2

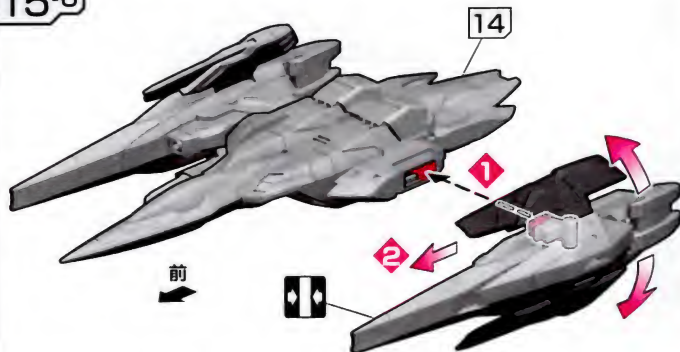


15-5

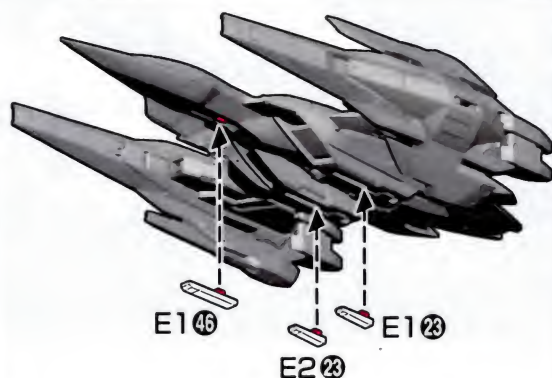
x2



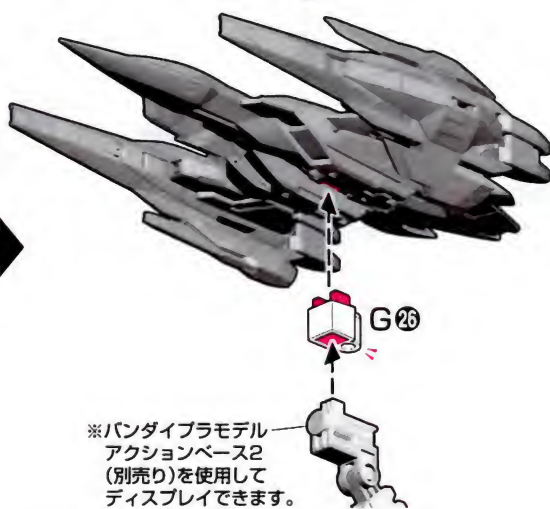
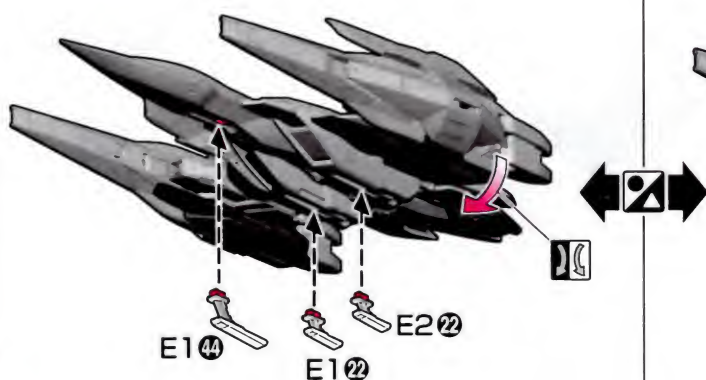
15-6



※ A 26 は好きな所に飾ってください。



15-7

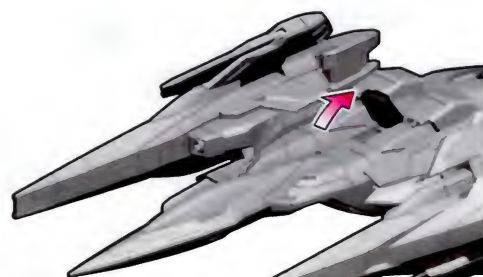


15-8



※GNシールドを取り付けることができます。

〈コクピットハッチの開けかた〉

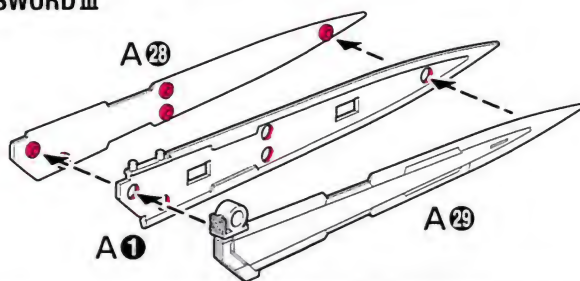


GN SWORD III

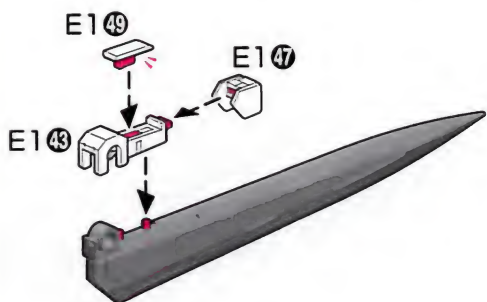


OO RAISER
CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GN DESTRUCTION DIO

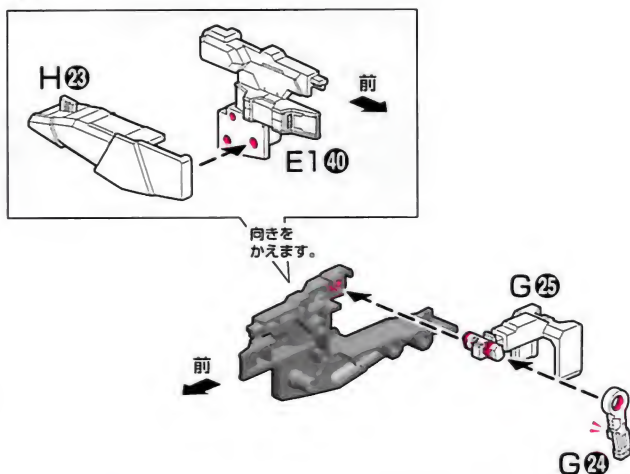
16-1 [GNソードⅢの組立] GN SWORD III



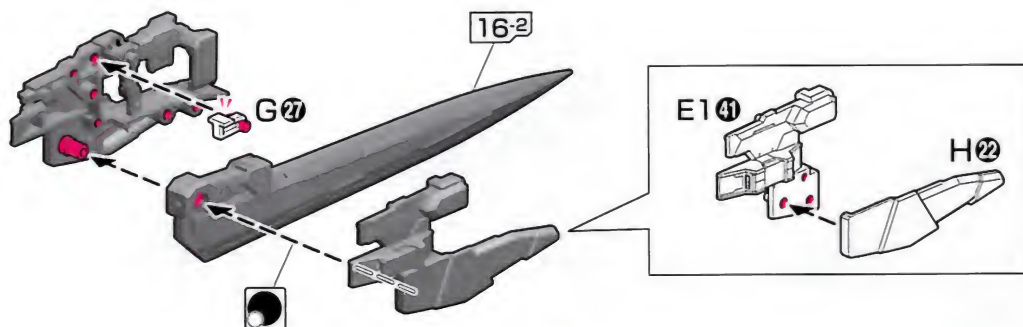
16-2



16-3



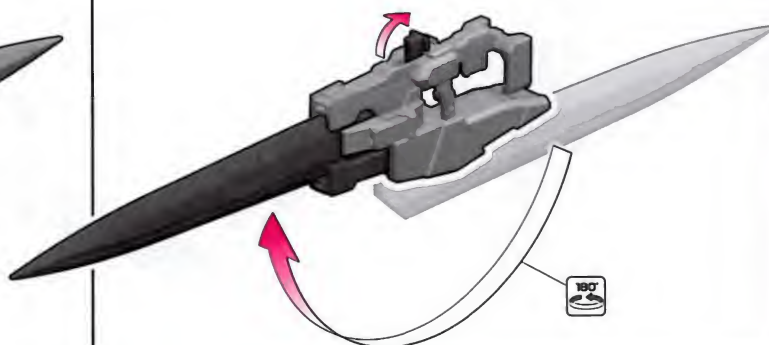
16-4



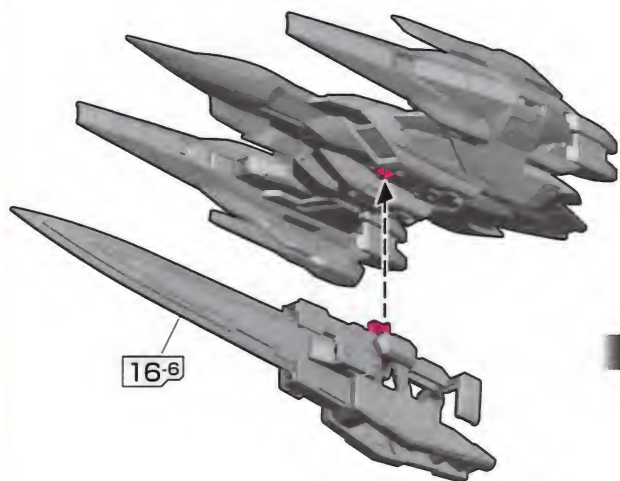
16-5



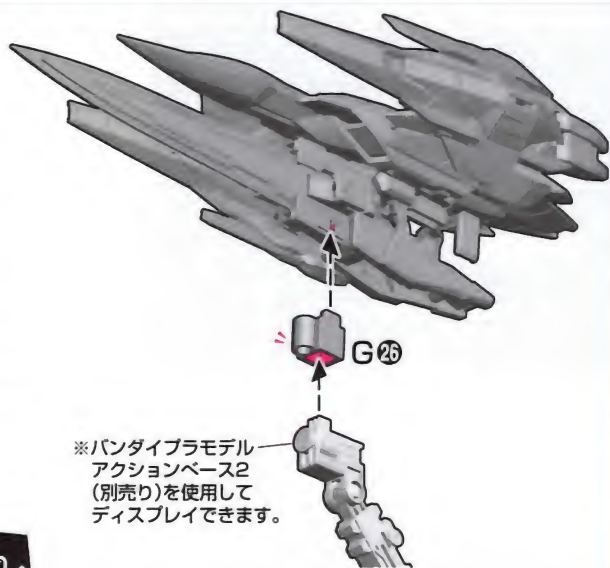
16-6



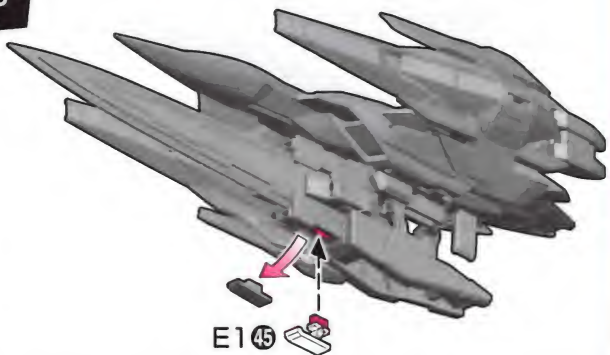
16-7



16-6

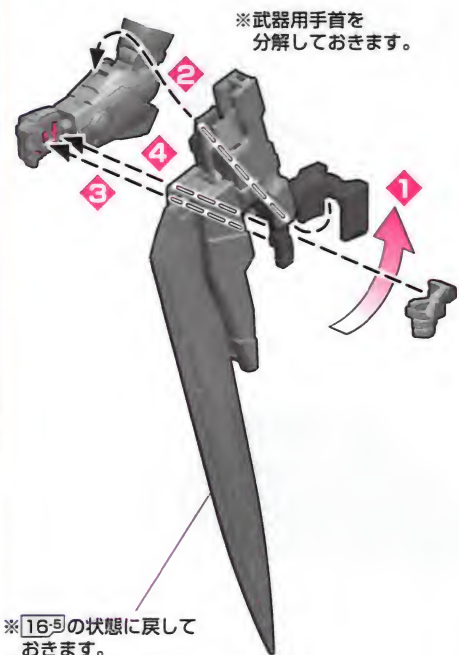


※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。



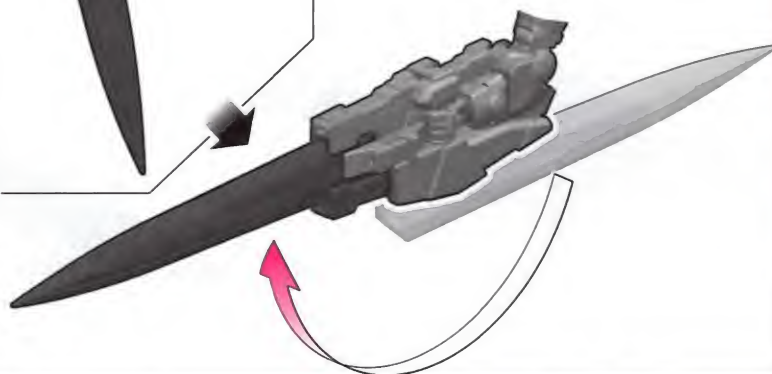
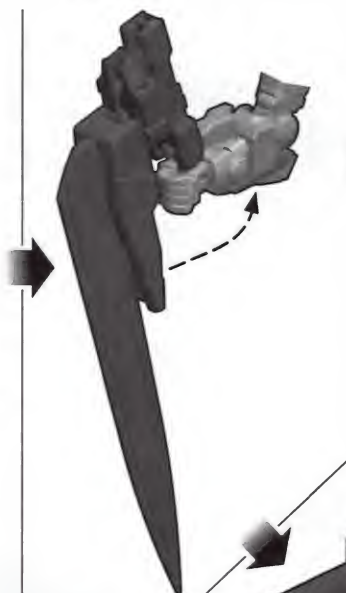
E145

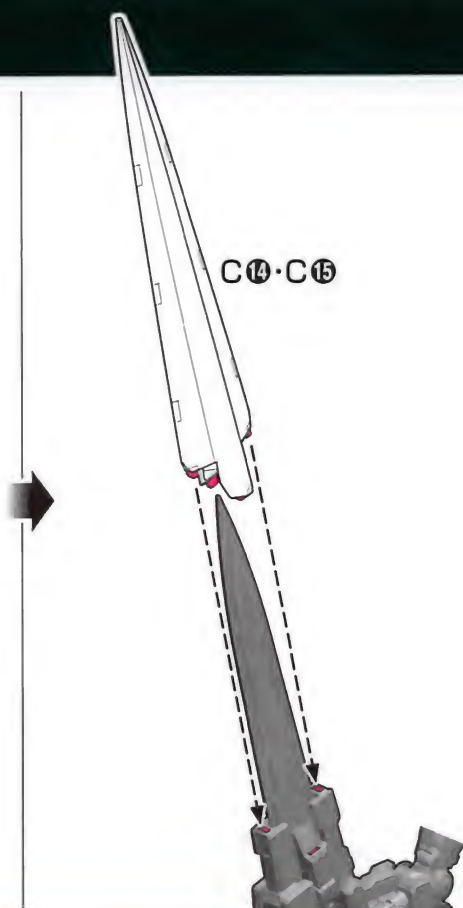
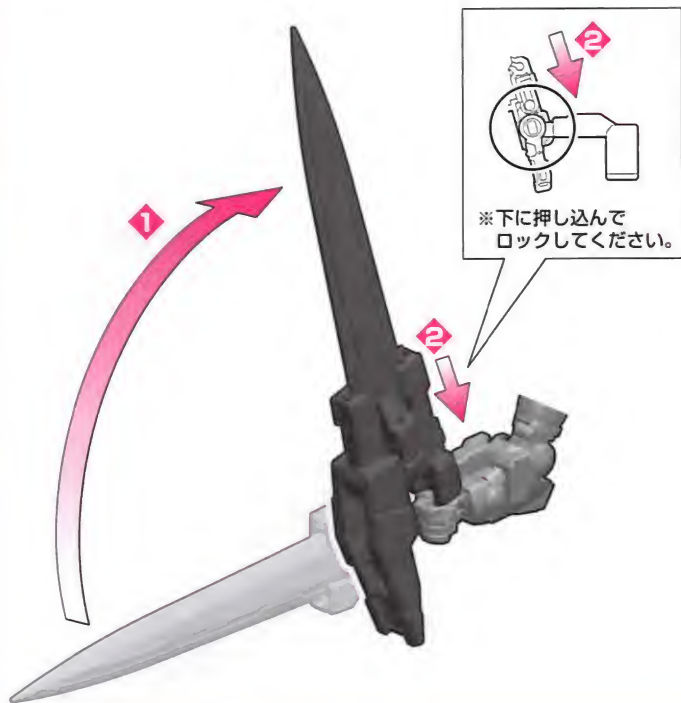
16-8



※武器用手首を
分解しておきます。

※16-5の状態に戻して
おきます。





WEAPON

【GNソードⅢ】 トランザムライザーの発動に対応して開発されたダブルオーライザーの主武装。“ダブルオーセブンソード”の開発で得られたデータを基に、3連装のマズルを持ち、ビームを集束、連射、拡散と撃ち分ける「GNライフル」、物理的に切断能力を向上させた「GNソード」、GNソードⅡ2基分をはるかに上回るビーム刃を発振可能な「ライザーソード」の3モードを持つ。特に最大稼働時のライザーソードは、MSのレベルを超えた威力を発揮する。



【GNシールド】

カーボンナノチューブの数十倍の強度を持つEカーボン製のシールドで、両肩に直接マウントできる仕様となっているほか、2枚を連結して大型シールドとして使用することも可能。表面がGNフィールドでコーティングされるため、通常兵器による攻撃はほぼ通用せず、先端の鋭利な形状を利用した打突兵器としても使用できる。



【GNソードⅡ】

エクシアのGNソードに準じた武装として開発されたダブルオーガンダム専用武装のひとつ。ライフル、ソード、サーベルの3モードでそれぞれビーム砲、実体剣、ビームサーベルとして使用できる。近接戦闘時には、2基を連結して大型の実体ソードとしての運用も可能であったが、トランザムライザー発動時の膨大な粒子量の制御などに関するスペック不足が明らかになったため、後にダブルオーライザーの主武装の座をGNソードⅢに譲ることとなる。



【GNビームサーベル】

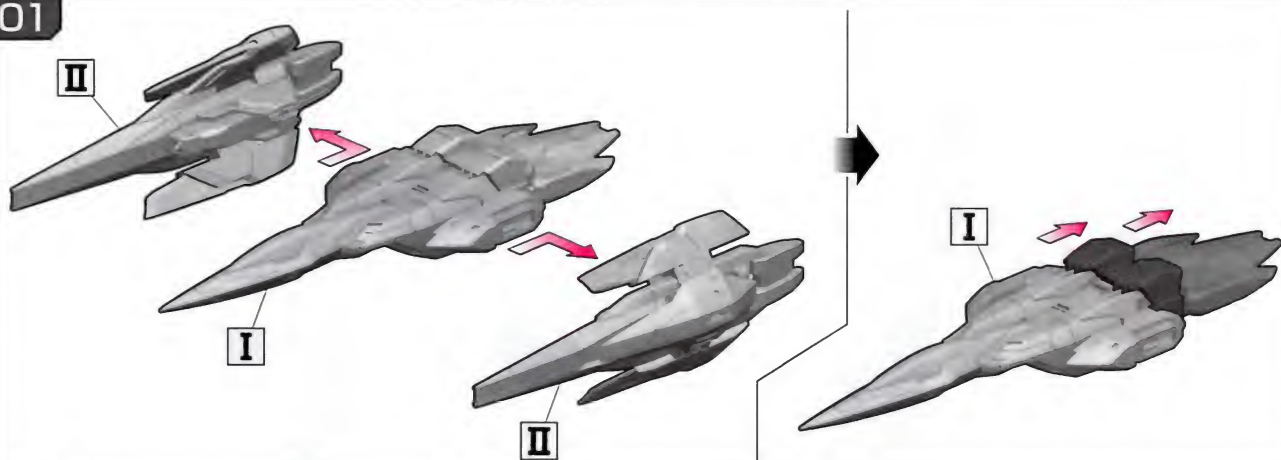
GN粒子によるビーム刃を発生させる斬撃および刺突、投擲用の装備。ビームサーベルあるいはビームダガーとして使用可能。エクシアが装備していたものと同等品だが、エネルギー効率などが若干改良されている。



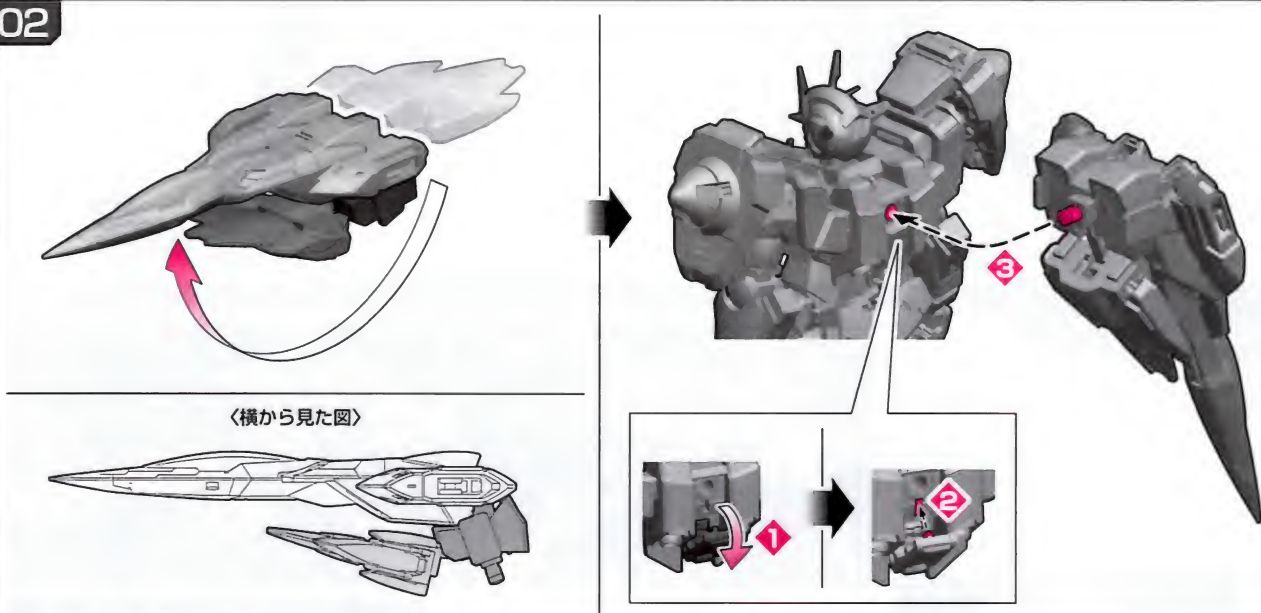
※一部の画像にはバンダイプラモデルアクションベース2（別売り）を使用しています。

OOGUNDAM → OORAISER [オーライザーの装着]

01



02

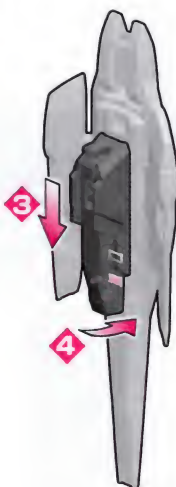


03

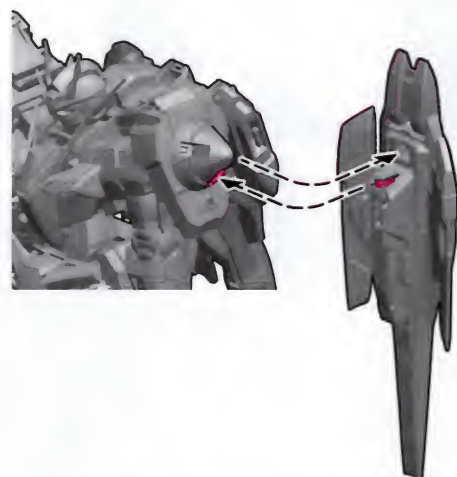
×2

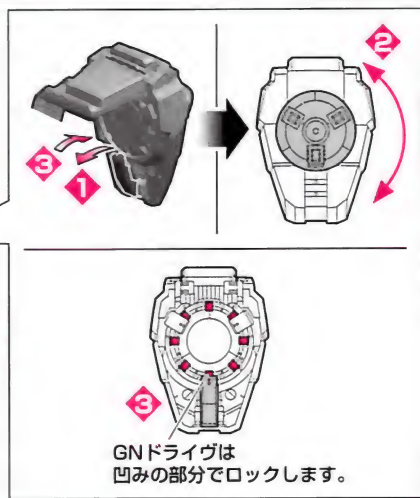
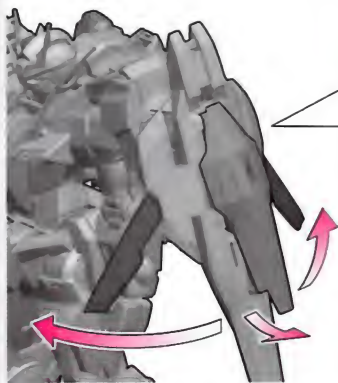


×2



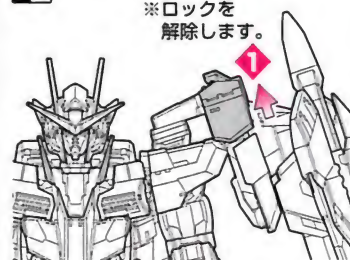
◀▶



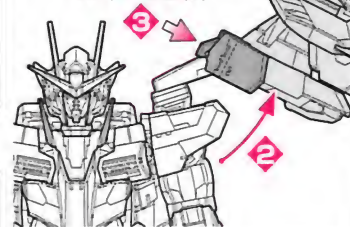


〈前から見た図〉

※ロックを
解除します。



※ロックします。



※画像の完成品はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

〈お買い上げのお客様へ〉万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記していただき、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、100円未満を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼 500-12
(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。B/パーツはランナー単位での販売です。

部品番号	取扱説明書	B/パーツ	C⑩、C⑪、C⑫	リアリステック デカール	その他の部品
部品代	150円	700円	各60円	350円	各60円
郵送料	205円	140円	140円	120円	120円

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10:00～16:00
・電話番号はよく確かめて間違いないようにご注意ください。

●部品の価格および送料は変更する場合があります。部品代には、消費税が含まれています。郵送料が改訂された場合は新料金が適用されます。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

0196427

1/144SCALE RGシリーズ
ダブルオーライザー

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした/なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号・年齢
() () ()
R2295835 '15.04

2015.04/T・ON

※コピー使用可



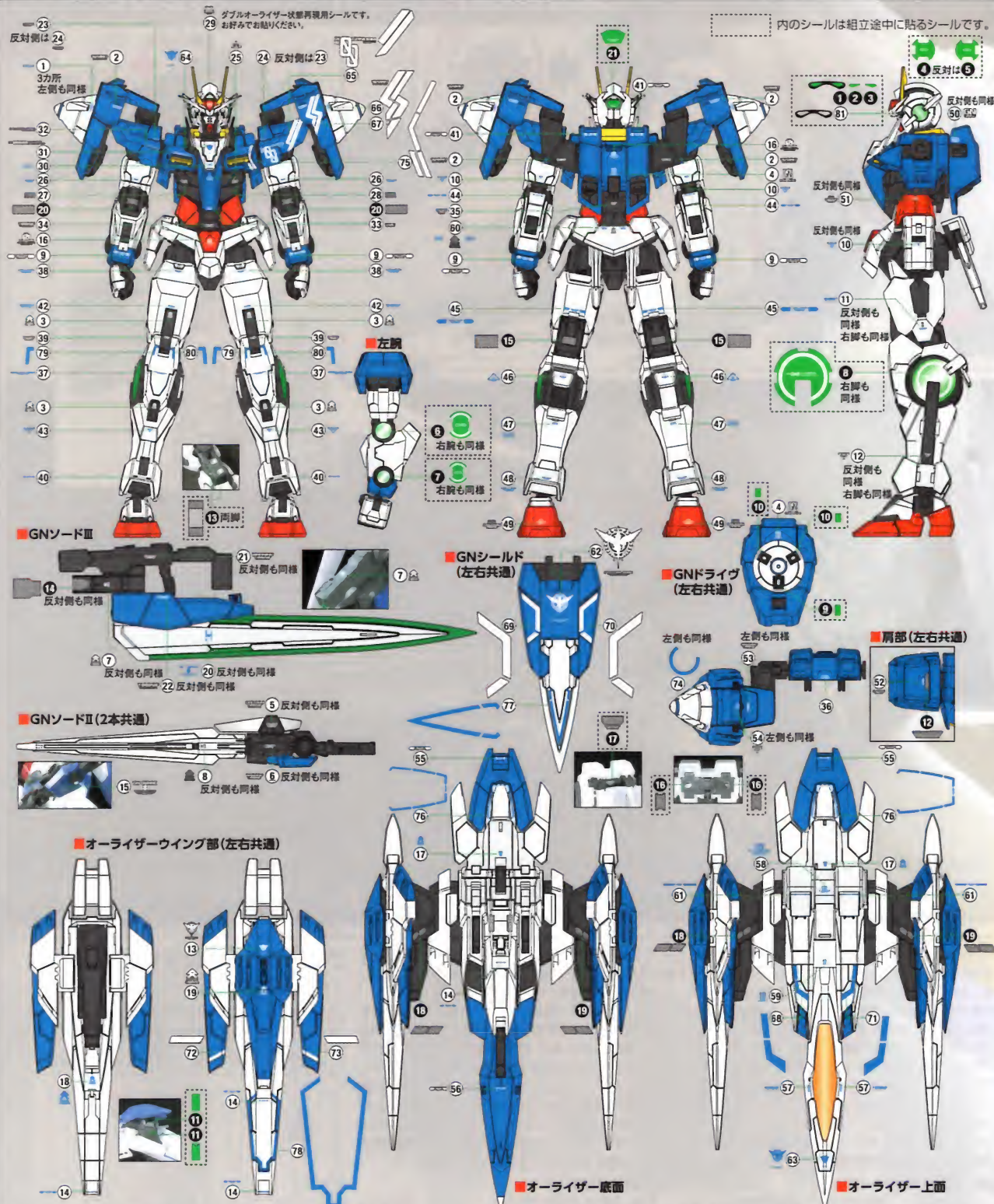
REALISTIC DECAL

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。

※マーキングシールを貼る位置を数字で表記してあります。

※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。

※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。※貼付指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。



※このマーキングはプラモデルオリジナルのもので、シールを貼る際にはピンセット (別売り) などのご使用をお勧めします。※画像は説明用に一部省略しています。

COLOR CHART

※塗装を楽しむ方は、右の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
※ABS樹脂部分への塗装は取損する恐れがありますので、塗装はお控えください。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

本体等ホワイト部の塗装色。
ホワイト (100%)

本体等ブルー部の塗装色。
インディブルー (80%) +
ホワイト (40%) + プール (少量)

本体等ダークブルー部の塗装色。
モンザレッド (80%) +
シャインレッド (40%)

アンテナ等イエロー部の塗装色。
イエロー (55%) + ホワイト (30%) +
オレンジイエロー (15%)

本体等ライトグレー部の塗装色。
ホワイト (95%) +
グレー (5%) + プール (少量)

本体等ダークグレー部の塗装色。
グレー (80%) + ブラック (20%)

顔等の塗装色。
膚茶色 (50%) + ホワイト (50%)

腕等ダークグレー部の塗装色。
ブラック (90%) + ホワイト (10%)

1/144 鋼骨・F・セイエイ

上層等ダークブルー部の塗装色。
インディブルー (100%)

上層等ブルー部の塗装色。
ブルー (85%) + ホワイト (35%)

インナー等ホワイト部の塗装色。
ホワイト (100%) + プール (少量)

バウンス内装等茶色部の塗装色。
ホワイト (85%) + プール (5%)

ブーツ底等グレー部の塗装色。
グレー (100%)

胸等ライトグリーン部の塗装色。
ホワイト (80%) + エアリアルグリーン (20%)

1/144 沙羅・クロスロード

上層等ダークブルー部の塗装色。
インディブルー (100%)

上層等ブルー部の塗装色。
ブルー (85%) + ホワイト (35%)

インナー等ホワイト部の塗装色。
ホワイト (100%) + プール (少量)

バウンス内装等茶色部の塗装色。
ホワイト (85%) + プール (5%)

ブーツ底等グレー部の塗装色。
グレー (100%)

胸等ライトグリーン部の塗装色。
ホワイト (80%) + エアリアルグリーン (20%)

1/144 鋼骨・F・セイエイ

上層等ダークブルー部の塗装色。
インディブルー (100%)

上層等ブルー部の塗装色。
ブルー (85%) + ホワイト (35%)

インナー等ホワイト部の塗装色。
ホワイト (100%) + プール (少量)

バウンス内装等茶色部の塗装色。
ホワイト (85%) + プール (5%)

ブーツ底等グレー部の塗装色。
グレー (100%)

胸等ライトグリーン部の塗装色。
ホワイト (80%) + エアリアルグリーン (20%)

1/144 沙羅・クロスロード

上層等ダークブルー部の塗装色。
インディブルー (100%)

上層等ブルー部の塗装色。
ブルー (85%) + ホワイト (35%)

インナー等ホワイト部の塗装色。
ホワイト (100%) + プール (少量)

バウンス内装等茶色部の塗装色。
ホワイト (85%) + プール (5%)

ブーツ底等グレー部の塗装色。
グレー (100%)

胸等ライトグリーン部の塗装色。
ホワイト (80%) + エアリアルグリーン (20%)

1/144 鋼骨・F・セイエイ

上層等ダークブルー部の塗装色。
インディブルー (100%)

上層等ブルー部の塗装色。
ブルー (85%) + ホワイト (35%)

インナー等ホワイト部の塗装色。
ホワイト (100%) + プール (少量)

バウンス内装等茶色部の塗装色。
ホワイト (85%) + プール (5%)

ブーツ底等グレー部の塗装色。
グレー (100%)

胸等ライトグリーン部の塗装色。
ホワイト (80%) + エアリアルグリーン (20%)

※ここに掲載している情報は2015年4月現在のもので、